

平成30年10月定例会
宇土市教育委員会会議録

宇土市教育委員会

にいいと思った。コミュニティ・スクール事業は公民館や生涯活動推進事業とリンクすると思う。一緒にまとまってできないだろうか。

太田教育長 国の方針としてコミュニティ・スクールと地域学校協働活動というコーディネートをもとめて関連させていくという方向性はある。宇土市は連携が進んでいる方である。連携をとることは大事だと思う。

近藤委員 語学指導委託事業はシリア人でシリア人の授業は英語でしているのか？日本語を教えるときの授業は英語で教えているのか？

太田教育長 この前学校訪問に行った。市費の非常勤講師で英語の免許を持っている先生がいる。その先生が担当である。英語でのやりとりで授業を行っている。

近藤委員 英語での授業で教えるということは、今後英語も理解しない子供が出てきた場合は先生の手配が大変と思う。

近藤委員 人材活用や他の事業も人材が高齢化しているという問題が多い。新しい人を入れれないといけない。教育力向上指導員は校長先生OBが多い。学校の先生OBに声かけをするのはどうか？放課後子供教室も同じで先生のみでなく、市職員OBの方等も声かけをしてはどうか？

史跡宇土城跡保存整備事業は「体験発掘」「キャッスルウォーキング」を学校の行事として行ってはどうかと思う。子供達も行ったことがない子供も多くいると思う。発掘とはどういうことをするのか？など子供達に体験してもらって関心を持ってもらうといいと思う。文化課と学校教育課で連携しアイデアを出し合ってみてはと思う。

小西行長についてはもう少し有名になってもいいと思う。例えば小西行長のゆかりの土地(宇土市外)、石田三成のゆかりの土地と交流したり、小西行長は海外で有名とあるので、海外と姉妹都市を結ぶなど、おもしろいと思う。

太田教育長 現在の取り組みとして小西行長のみではなく、織田信長や加藤清正などの他の人物に視点をあてた講演が行われている。私も何度か参加し、思ったことは歴史の解釈が変わっている。例えば織田信長は有能な人であり、破天荒な人物と思われているが、緻密な政策をうっている。小西行長もキリシタン大名として有名だったが、西軍の2番手という違った視点から解釈されている。

近藤委員 専門の先生方が小学校等に出向いてわかりやすく話をしていただければ、おもしろいと思う。大太鼓も体育館等で児童・生徒に一人一人たたいてもらうなど行えば、大変おもしろいと思う。

歴史的資料保存活用については、地震があり解体した家屋がかなりある。その時に資料が多くでて、文化財等が見つかった場合もある。PRをもう少ししてはと思う。

私たちは、学校訪問で小中学校の訪問はするが、給食センターや図書館

の訪問はしない。機会があれば、訪問をしたいと思う。実際見たら、傷んでいる箇所がわかるのではないかと思う。また、そこで働いている方とも話ができれば、困っていることなども把握できると思う。

地域教育力活性化事業は学校・地域と協同していくと広がっていくのではないかと思う。

岩村委員

今後の方向性はこのままでいいと思った。

I C T関連で、タブレットを各学校でそれぞれ導入し、今後も導入の予定である。導入した後どのように活用するかが大事であると思う。地域サポート協力隊は大事であると思う。先生方に使い方の指導・助言を行う。地域によっては専門の業者がされているところもある。どのソフトを使い、どのように指導していくか等、その予算も同時にすべきではないかと思う。地域サポート協力隊をお願いするようにしてあるので、各学校でどのようにするのか、連携しながら進めて行って欲しい。

コミュニティースクール事業について、宇土小、宇土東小、鶴城中の3校について、是非コミュニティースクールが実施できるよう、がんばって欲しい。学校運営協議会を設置しながら進めていかないといけない。

A L T教育はA L Tをうまく活用していく中で、これからの外国語学習は英語を話せるような子供達をつくっていく必要がある。A L Tをうまく活用しながら、授業をうまくコーディネートしてもらって非常勤の先生がいると良いのではと思う。次期の学習指導要領では、外国語が拡充される。英語の授業は英語のみで行う。途中で日本語を入れない。日本語に頼ってしまうため、英語のみで行うことが必要と思う。発音についてはうまくA L Tを活用し、英会話の充実を図っていくと良いと思う。

放課後子供教室について、小学校の部活動がなくなり、社会体育へ移行し、先生方に時間ができ、放課後の個別学習指導・教育相談を行っているかを聞いてみたが、うまくできていない感じだった。小学校の放課後をどう活用しているか？放課後の個別学習指導・教育相談を行っているかの実態調査を行うべきと思う。調査後うまくできない学校については、教育委員会が指導をしていく必要があると思う。

歴史的資料保存活用は新庁舎ができると教育委員会も新庁舎に入る。現在の教育委員会の場所を利用し、市の博物館を作って欲しい。また、市内の史跡巡りも考えていくといいと思う。休日に市内外の方に広報しながら、広報活動を広げて行って欲しい。

給食センター、図書館の施設改修を計画的に進めて行って欲しい。

山本部長

博物館の話がでたが、この建物は空くので、現在の計画で文化課が資料等を保管する場所に使う予定である。確定ではないが、文化課の資料室、展示室になる計画になっている。

前田指導主事

A L Tのコーディネーターについて、現在委託している先生がクロイド

ン先生で、今までボランティアでされていた。授業もなかなか行けず今年度は授業の時数を減らし週1回、他の先生とのコーディネータ役をしてもらっている。効果が上がっているかはわからないが、来年度も取り組んでいきたいと思っている。校内の研修もALTを活用するように伝えている。ALTの勤務時間を変更し、16:30までいるようにしている。放課後の研修等も活用するよう伝えている。

芥川委員

この評価シートは良くできている。利用者・市民の方の声の説明を入れたらどうかと思う。様子がわかると思うので、1, 2点で良いので入れてもらえばと思う。

園田委員

このシートは市民への説明責任を果たすためとなっているが、市民への説明はいつ、どのようにしてするのか。10月23日に来年度予算説明会がある。10月に平成29年度の話をしている。教育委員の任期が9月、市議会議員の任期が10月中旬なので、9月までにしたほうがいいのではないか。とても詳しく記入してあり、短い期間で、今後の予算等に活かされるのかが疑問である。

市議会議員の選挙で議員の公約の中で「ICT事業が十分でない」と書いてある。何をもちって十分でないのか聞きたい。議会等で出るのか？

図書館・歴史館について、図書館は配置や蔵書によって子供や保護者の来られる意識が違う。そのような専門的なアドバイスをどのように受けているのか？城南町の図書館は広く、椅子があり、ビデオなど大きなものがある。歴史的資料保存等もどのようなアドバイスを受けるのか？

多子世帯の給食費の件は、経済的負担が減って助かると回答した人が86%とある。私は何か補助が足りないのではと思った。子供が4・5人いる世帯で子供にかかるお金は多い。収入で分けるより、皆、無償にしたほうがいいと思う。

教育力の向上支援事業について、非常にいいアドバイスをされていていいと思う。今、指導力の問題はメンタル面も多いと思う。技術の前に職場に対する不安などメンタル面でサポートされる方を増やすといいと思う。子供達にはメンタル面でのアドバイザーがついているが、学校の職員は管理職が聞くようになっている。大きい学校では一人一人を見るのは大変である。

外国語指導事業はテレビで見たが、他の学校で、英語の本を千冊読むというのがあった。興味のあるものを読み、字が多いのは読まない。分からなくても辞書を引かず、多く読めば分かっていくというものがあった。図書館や学校の図書室に英語の本がどのくらいあるのかと思った。英語を親しむ環境を作っていくってと思った。

指導者の高齢化の問題で、年齢が高い方も働きたいという方が多いので、広報等で積極的に公募を行うといいと思う。

予算に対して決算の開きがある。対外的に説明をしなければいけないと思う。今後は計画的に予算を執行してほしいと思う。

学校教育課長 市民への説明について今後議会で説明、その後ホームページに掲載し、説明とします。

園田委員 いつぐらいか？

学校教育課長 12月議会が終わり次第である。

園田委員 12月に平成29年度の事業を載せるのは遅いと思う。

学校教育課長 今回、委員から承認をいただき、拡充や維持等の意見で予算要求を行う。

山本教育部長 入力は11月であるが、査定がある。間に合わないことはない。

学校教育課長 ICTについて、議会で何度か質問はあり、「山江村は1人1台である、それにより、学校の成績が伸びた」ということを言われた。また、宇土市は1学校につき電子黒板が1台であるが、宇城市は昨年の予算で電子黒板が普通学級に1台ずつ着いた。

太田教育長 予算編成で宇城市はALTとICTのどちらをとるかという点で、宇城市はICTを宇土市はALTや特別支援などの人員を重視した。そのため、宇土市はICTの予算が削られた。限られた予算で優先順位をつけて事業を行うということで、宇土市は人材のほうを取った。

園田委員 人はいると思う。ICTは活用できる人がいないとできない。

図書館長 図書館の配置等の専門的なアドバイスをする人はいないが、研修で毎年他の施設を見ている。

園田委員 図書館が狭い。本を探すときに1冊ずつ念入りに見ないと探せない。網田小学校が熱心に読書活動をされたときに、子供達に表紙が見えるように、並べたり、行事によって並べたりして、配置を変更されていた。図書館の職員は子供達に話しかけ、選びやすいようにされていたが、子供達自身で選び易いように配置を考えてほしい。

太田教育長 図書館運営協議会というのがある。その中で、「蔵書数が少ない、魅力ある本が少ない」などのご意見をいただき、図書館の運営に活かしているところである。

岩村委員 図書館は、学校の図書室とオンライン化はできているのか？

図書館長 オンライン化はできていない。

岩村委員 オンライン化ができると子供達が探すときにいいのではないか。本の名前を検索すると、どの図書館にあるということができればいいと思う。

太田教育長 園田委員が指導力の向上で先生方のメンタル面のサポートと言われた。今年度「ストレスチェック」という予算をつけてしているものがある。「メンタルヘルス調査」を全部の先生を対象に行っている。

《採決》（原案のとおり）



報告事項

- 教育部長 ・市議会選挙について（選挙後臨時議会開催10/22）
- ・平成31年度当初予算について
- 学校教育課長 ・教育総合会議のテーマについて
- 学校教育課長補佐 ・学校における問題行動について
- ・いじめについて
- 各課長 ・行事予定表について



太田教育長 本日の日程は全て終了しましたので、平成30年10月の定例教育委員会員会を閉会します。

— 閉会 —

（午後0時50分）

議事録署名

委員 園田 寛子

委員 岩村 俊明